

野生植物の受粉における 在来マルハナバチ類の役割



種類ごとに舌の長さ,体のかたちが異なり,種によって
利用する花のかたちが異なる。

ハチと花のかたちが対応 正確に受粉される。

種子生産には在来マルハナバチ類の訪花が不可欠

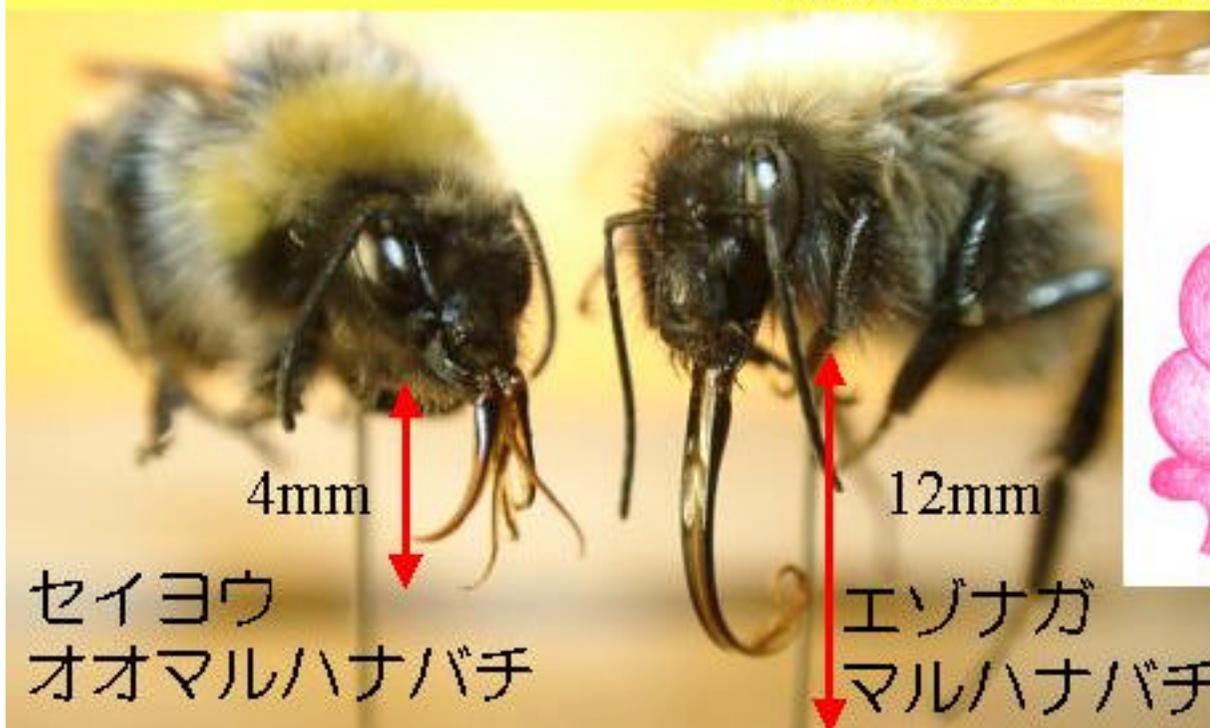
セイヨウオオマルハナバチ
(*Bombus (Bombus) terrestris* (Linneus, 1758))



天然分布はヨーロッパ全域, アフリカ北部
ニュージーランド, タスマニアなどで野生化

セイヨウオオマルハナバチの 生態の特徴＝生活力が高い

- ・さまざまな気候に適応、高い増殖力、巣の防衛能力が高い、
巣の乗っ取りを行う
- ・花の蜜をすうための舌が短く、花筒の長い花で盗蜜
→資源として利用できる花の種類が多い



↑ 盗蜜行動